

# 債券・為替 ウィークリーレポート



カナダ



ブラジル



メキシコ



オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー



南アフリカ


















インドネシア



インド

市場概要・見通し（カナダ、ブラジル、メキシコ）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/25 (8/18との比較)	8/25 (8/18との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
カナダ 	AAA	1.87% (+0.00)	87.63円 (+1.01%)	+2.3% 2017年1Q	0.75%	自動車を除いた小売売上高は市場予想を上回る内容。NAFTA（北米自由貿易協定）と米欧の金融政策姿勢を見極める環境下、国債利回りはほぼ横ばい。カナダドルは対円で上昇。	経常収支や4-6月期のGDP（国内総生産）などの発表を予定。米国を中心とした経済指標など金融政策動向をにらみ、レンジ内での推移が継続する見通し。
	Aaa	 金利横ばい		 景気拡大	 利上げ局面		
ブラジル 	BB	9.04% (▲0.14)	34.62円 (▲0.24%)	-0.4% 2017年1Q	9.25%	政府がインフラ関連企業などの民営化案を公表したことなどから財政改革の進展が期待されたものの、市場全般に動意の欠ける展開となる中、リアルは対円で下落。国債利回りは低下。	4-6月期のGDP（国内総生産）などの発表を予定。債券市場は中銀の緩和的な政策などから堅調に推移すると見込むも、為替市場は政治的不透明感の残存などから上値の重い展開を予想。
	Ba2	 金利低下		 景気回復	 利下げ局面		
メキシコ 	A	6.75% (▲0.00)	6.21円 (+0.64%)	+1.8% 2017年2Q	7.00%	トランプ大統領の保護主義的発言が為替を下押ししたものの、イエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が講演で金融政策に言及しなかったため、米金利上昇への警戒感が後退。ペソは対円で上昇。国債利回りはほぼ横ばい。	製造業PMIなどの発表を予定。NAFTA（北米自由貿易協定）再交渉や、中銀の金融政策の動向をにらみつつ、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	A3	 金利横ばい		 景気安定	 利下げ局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回りを表示（カナダ：10年、ブラジル：4年、メキシコ：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
















※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。

※政策金利については、カナダ：翌日物貸出金利、ブラジル：Selicレート、メキシコ：翌日物金利を表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。
















国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/25 （8/18との比較） 今後の見通し （※4）	8/25 （8/18との比較） 今後の見通し （※5）	前年比 （※3） 景気の方向性 （※6）	先週末 方向性 （※7）		
オーストラリア 	AAA	2.65% （+0.03）	86.76円 （+0.22%）	+1.7% 2017年1Q	1.50%	主要な経済指標は特になし。米欧の金融政策の先行きを探る環境下で、国債利回りは小幅上昇。オーストラリアドルは対円で上昇。	中国の製造業PMIなどの発表を控える中、鉄鉱石価格の動向を注視。TPP（環太平洋経済連携協定）主席会合が同国で開催。米国の金融政策動向にも注意が必要な中、債券・為替市場ともに神経質な展開を予想。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ニュージーランド 	AA+	2.88% （+0.05）	79.19円 （▲0.83%）	+2.5% 2017年1Q	1.75%	9月23日の総選挙を控え、政府は経済・財政見通しのアップデートを発表。経済成長率見通しが下方修正された一方、健全な財政が続くとの見通しは維持。ニュージーランドドルは対円で下落。国債利回りは上昇。	景気拡大局面が続いているものの、ハイペースでの経済成長がやや低下する兆し。企業景況感金融緩和政策が長期化するか否かを占う上で重要。為替との連動性の高い交易条件指数などの発表も予定。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		
ノルウェー 	AAA	1.56% （▲0.02）	14.11円 （+2.20%）	+0.2% 2017年2Q	0.50%	石油産業の2018年の設備投資計画は前回調査から下方修正。一方、4-6月期のGDP（国内総生産）は市場予想を上回り、景気の改善傾向が続いていることを確認。ノルウェークローネは対円で上昇。国債利回りは小幅低下。	ユーロ圏での景気改善の恩恵や緩和的な金融政策の効果を受けて、経済の改善が着実に持続する中、前月分が減少した小売売上高が反動増となるか、また、製造業PMIが高水準を維持するかなどに注目。
	Aaa	 金利横ばい		 景気安定	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

- ※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる自国通貨建て長期債格付を表示。
- ※2 10年国債利回りを表示。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。
- ※3 経済成長率については、前年同期比を表示。
- ※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。
- ※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。
- ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。
- ※政策金利については、オーストラリア：キャッシュレート、ニュージーランド：オフィシャル・キャッシュレート、ノルウェー：デポジットレートを表示。

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

市場概要・見通し（南アフリカ、インドネシア、インド）

国（地域）	格付 （※1）	債券（※2）	為替（対円）	経済成長率	政策金利	先週の動向	今週の見通し
		8/25 (8/18との比較)	8/25 (8/18との比較)	前年比 (※3)	先週末		
		今後の見通し (※4)	今後の見通し (※5)	景気の方向性 (※6)	方向性 (※7)		
南アフリカ 	BBB-	7.46% (+0.01)	8.39円 (+1.00%)	+1.0% 2017年1Q	6.75%	インフレ統計は対前年比で前月より伸びが低下。インフレ率下振れによる利下げ観測の高まりを受けて、国債利回りは小幅上昇。ランドは対円で上昇。	貿易収支や製造業PMIなどの発表を予定。財務相は経営難の国営航空の救済を発表し、同国財政の重石に。依然として不安定な国内情勢から、債券・為替市場ともに不安定な展開を予想。
	Baa3	 金利上昇	 為替下落	 景気鈍化	 据え置き局面		
インドネシア 	BBB-	6.41% (▲0.20)	0.82円 (+0.24%)	+5.0% 2017年2Q	4.50%	市場予想に反して、中銀は政策金利を0.25%引き下げること決定。金融政策が好感され、国債利回りは低下。ルピアは対円で上昇。	マネーサプライなどの発表を予定。国内景気がさえないことや、インフレ上昇圧力が弱まったことなどを背景に、中銀による追加金融緩和の期待が高まり、国債利回りは低下しやすい地合いを予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気拡大	 据え置き局面		
インド 	BBB-	6.51% (+0.01)	1.71円 (+0.41%)	+6.1% 2017年1Q	6.00%	国営銀行の統合に対する閣議承認や、中国との国境間における緊張感の緩和を受けて、ルピアは対円で上昇。国債利回りは小幅上昇。	4-6月期のGDP（国内総生産）の発表などを予定。1-3月期のGDPは高額紙幣廃止の影響から下振れたものの、今回は緩やかに持ち直す見通し。安定した国内情勢から債券・為替市場は堅調な推移を予想。
	Baa3	 金利横ばい	 為替横ばい	 景気回復	 据え置き局面		

（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※1 格付は上段がS&P、下段がMoody'sによる本国通貨建て長期債格付を表示。

※2 国債利回り表示（南アフリカ：5年、インドネシア：5年、インド：5年）。債券については変化幅、為替については騰落率を表示。

※3 経済成長率については、前年同期比を表示。

※4、5 今後の見通しについては、今後1カ月のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。為替の見通しについては、現地通貨高（円安）を上向き、現地通貨安（円高）を下向き、横ばいを横方向の矢印で表示。

※6、7 方向性については、今後1年のアセットマネジメントOneの見通しを矢印で表示。

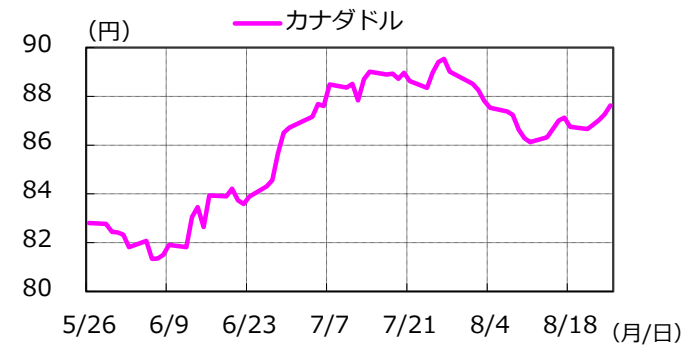
※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。

※政策金利については、南アフリカ：レポレート、インドネシア：7日物リバースレポ金利、インド：レポレートを表示。

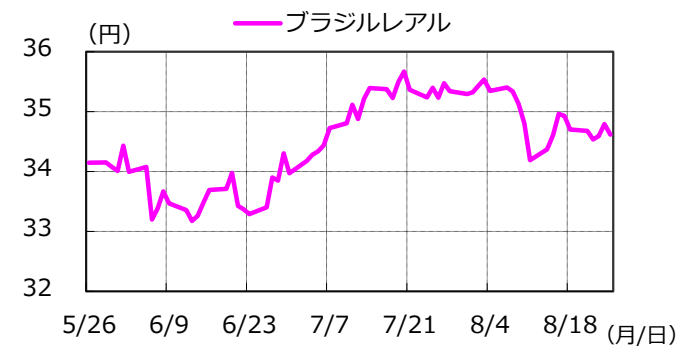
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/26～2017/8/25

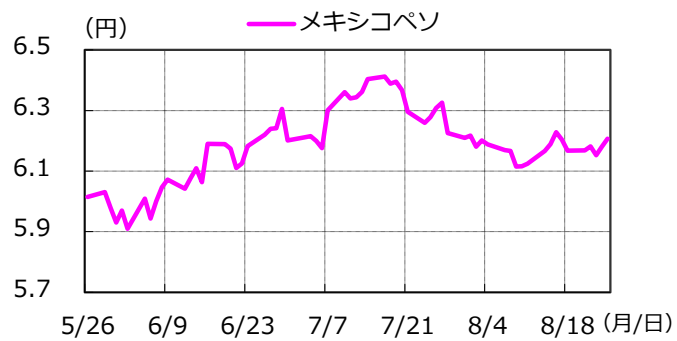
カナダ



ブラジル



メキシコ

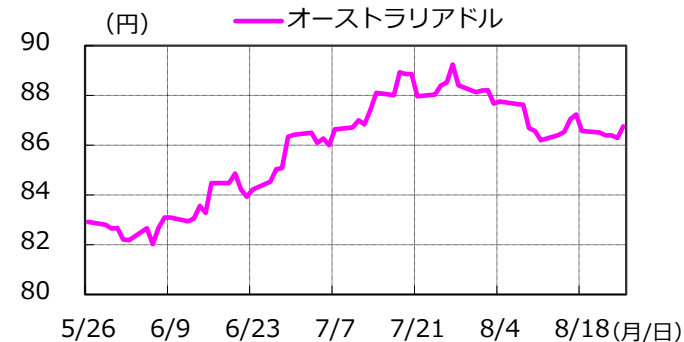
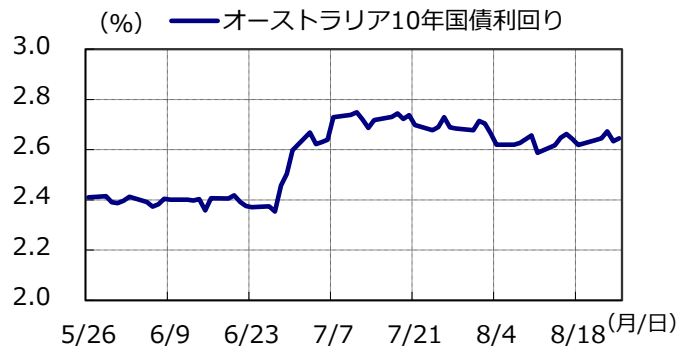


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

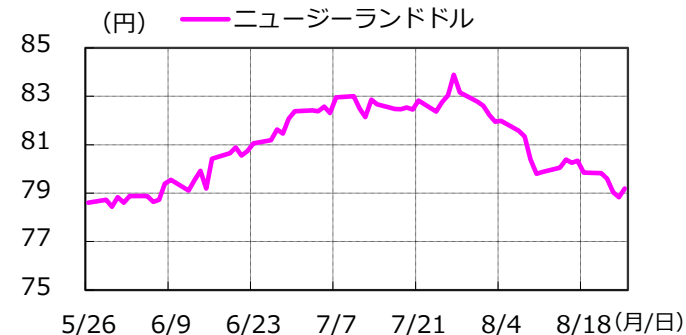
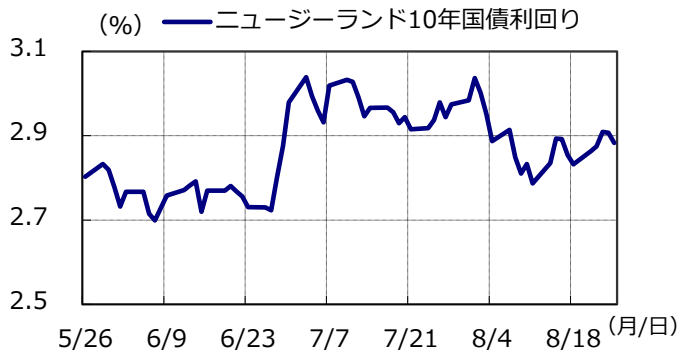
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/26～2017/8/25

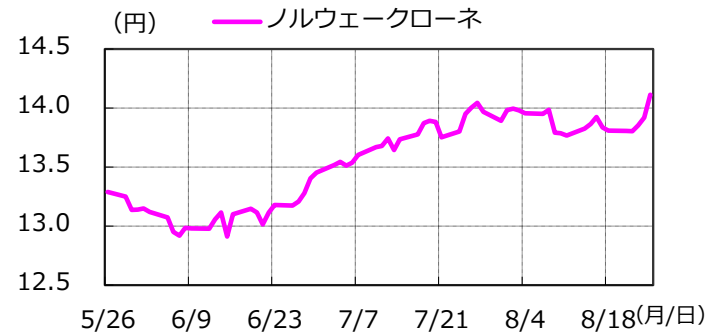
オーストラリア



ニュージーランド



ノルウェー

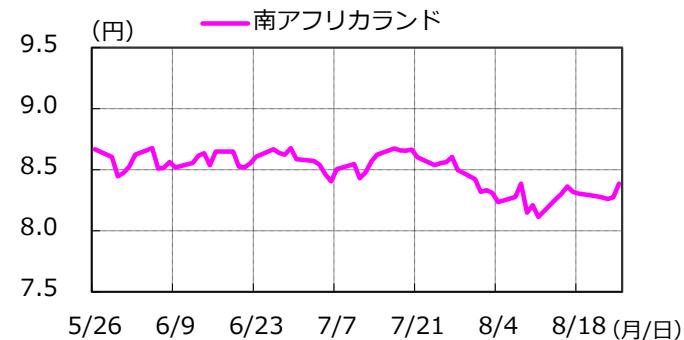


※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

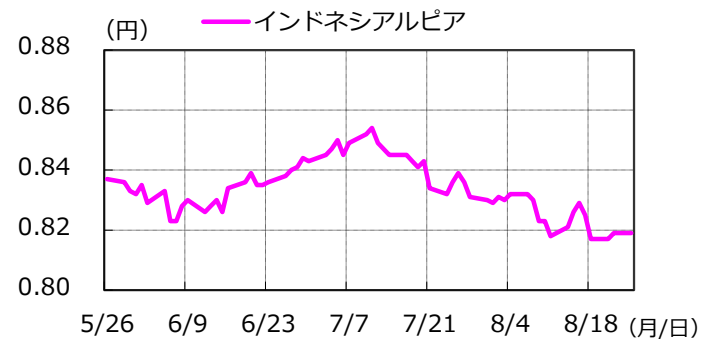
※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。

期間：2017/5/26～2017/8/25

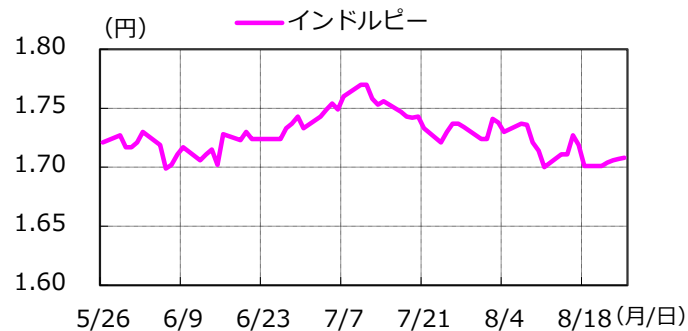
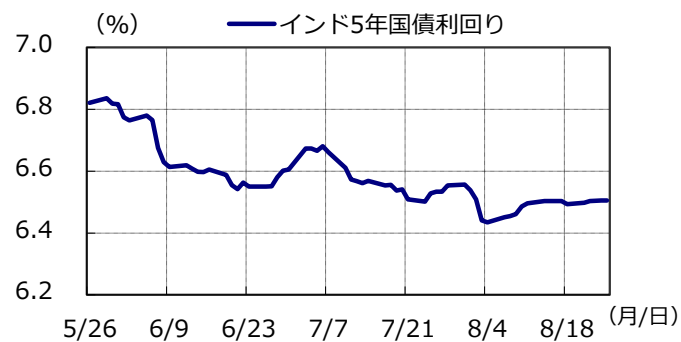
南アフリカ



インドネシア



インド



※インドネシアルピアは100通貨単位あたりの値。 ※為替レートについてはいずれもNY終値を表示。（出所：ブルームバーグのデータ等をもとにアセットマネジメントOne作成）

※上記は過去のデータであり、将来の市場動向を示唆、保証するものではありません。  
※巻末のご注意事項を必ずお読み下さい。



# 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

## 【投資信託に係るリスクと費用】

### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

#### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.78%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

#### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.6824%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

## 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象ではありません。

2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。

3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。